

第1回竜王地区地域審議会会議録

1 日時 平成26年6月6日(金) 14時00分～16時00分

2 場所 甲斐市役所 竜王庁舎 本館4階 委員会室B

3 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付(中村佳明氏、柴田健一氏)
- (3) 会長あいさつ
- (4) 企画政策部長あいさつ
- (5) 副会長の選出
- (6) 報告事項
 - ① 冷間団地再開発計画事業について
 - ② 甲斐市民バスの現状と今後について
 - ③ 市制10周年記念事業について
- (7) その他
- (8) 閉会

4 出欠席者

- (1) 出席委員〔8名/10名〕
- (2) 欠席委員〔2名/10名〕中村直明委員、飯野委員
- (3) 事務局

小田切企画政策部長、内藤秘書政策課長、坂本企画財政課長、岩下建設課長、
企画財政課企画係：中込係長、建設管理係：飯沼係長
秘書政策課総合政策係：丸山係長、小澤主査、古屋主任

5 決定事項 副会長：中村直明委員

6 主な質疑

①冷間団地再開発計画事業について

- ・事業の財源の中で国の交付金はどれくらいか。
⇒国の社会資本整備総合交付金が45%ある。残りは、市営住宅整備基金により整備した。
- ・市の税金で負担した金額がどれくらいの期間で償還できるか。
⇒低所得者に対する公共整備のため、住宅家賃収入で市税分を償還するという考え方は基本的にはないが、後日試算する。(別紙)
- ・多世代共生型の住宅とは。ソフト事業があるか。
⇒住宅マスタープランに基づく考え方で、ソフト事業の計画はないが、集会施設を作ることでのコミュニケーションの向上を図るものである。
- ・高齢者と子育て世帯を中心となっているが入居条件が設けられるか。
⇒世帯を構成すること及び公営住宅法に基づく収入の条件を設けている。
- ・震度どれくらいまで耐えられるか。防災倉庫を用意する考えがあるか。
⇒建物的には、構造計算上、震度6.5まで耐えられる。現在、南区の集会所に防災倉庫を設置して

いる。

- ・新しく建てる集会場は、団地の避難所として考えているか。

⇒災害時の、第1次避難場所として考えている。

②甲斐市民バスの現状と今後について

- ・バスを利用しやすくする対策として、自由乗降や停留所を増やすなど検討をしているか。

⇒2年9か月の実証運行をするなかで、路線や停留所などを検討し、平成25年度から本格運行している。自由乗降は、安全面等の理由で認められていないが、今後も乗降客が増えるように検討していく。

- ・甲斐市民バス応援事業について、商工会へ正式な協力依頼がない。

⇒事務局へ話をした経緯はあるが、今後、正式に協力を依頼したい。

- ・1人暮らし等の交通弱者の方たちへ、民生委員を通じてアンケート調査をしてみてもは。

⇒本格運行する以前に住民アンケート調査をした経緯はあるが、高齢者への対策として、長寿推進課と連携して、アンケート調査を検討したい。

- ・バス料金は値上げしたのか。

⇒民間のバス料金等を勘案し、本格運行時に料金を100円から200円にした。

- ・運行経費を考慮し、29人乗りバスでなくても良いのではないかな。

⇒今後研究したい。

- ・応援事業を乗ったらメリットがある、乗らない人にはメリットがないようにしたほうが良い。

・竜王駅の乗降客数を増やすことも踏まえ、駅から医大へ行くバスにイオンに止まる停留所を設置したらどうか。

⇒イオン付近には既にバス停がある。竜王駅から医大まで定額のバス料金で行けることをホームページやポスターでアピールしていきたい。

③市制10周年記念事業について

- ・イベントの方向性として、全市民参加型と市の特産物をPRしていく必要があると考える。

⇒チャレンジデーは全市民参加型でしている。市の特産物のPRとして、食育料理コンテストを開催し、集客数が多いわくわくフェスタで発表する。

- ・イベントの参加率の向上のため、自治会を通じて参加を促しては。

⇒ホームページ、ツイッター、LINEや広報誌など様々なメディアを使ってPRしたい。

- ・市の特産物のPRがもっと必要ではないかな。

- ・山県大貳の焼酎に桑の葉のお茶をセットにし、市長がPRしてみてもは。

⇒商工会やJAなどと連携しながらPRに努めたい。

- ・地元でのイベントする必要があると思うが、竜王駅を使った新たなイベントはあるかな。

⇒既に、商工会と連携して、イルミネーションやコンサートを実施している。多くの人を集めるイベントには駐車場の問題があるため、今後検討していきたい。

④その他

- ・市内にある花壇は、ウォーキングなど地元の人が使える休憩場所にしたほうが良い。

⇒担当に申し伝える。